

授業科目名 <英訳>	文化行為論 2 A Theories of Cultural Practices 2A			担当者氏名	人文科学研究所 教授 田中 雅一				
配当学年	修士	単位数	2	開講期	前期	曜時限	月2	授業形態	講義
【授業の概要・目的】									
文化行為論は日常実践に焦点を絞る文化・社会人類学を学ぶ授業である。現代日本社会との比較を通じて、自明とされてきた現象や考え方の再考を試みる。今年度は昨年度に引き続きジェンダーとセクシュアリティを扱う。この授業を通じて現代世界における暴力とジェンダー・セクシュアリティとの関係をより包括的に理解できる。									
【授業計画と内容】									
以下のような課題について、1課題あたり1～2週の授業をする予定である。 1) 文化人類学の変貌、ジェンダーとセクシュアリティの人類学 エロスと反エロス 2) ジェンダー儀礼 男になる・女になる 3) 結婚の多様性とその変貌 4) 女性への暴力 5) セックスワーク human-trafficking 6) 拷問・戦争・軍隊 7) フェティシズムとその周辺									
【履修要件】									
文化人類学に関するほかの講義を受けていることが望ましい。									
【成績評価の方法・基準】									
毎回の小レポートの評価を含む平常点（60パーセント）。 期末レポート（40パーセント）									
【教科書】									
使用しない。									
【参考書等】									
（参考書） 田中雅一ほか編 『ジェンダーで学ぶ文化人類学』（世界思想社） 田中雅一ほか編 『ジェンダーで学ぶ宗教学』（世界思想社） 田中雅一 『癒しとイヤラシ エロスの文化人類学』（筑摩書房） 謝秀麗 『花嫁を焼かないで』（明石書店） 田中雅一 『フェティシズム研究 1&2』（京都大学学術出版会） 各テーマについては授業中に参考文献を紹介したり、資料を配布する。									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
使用する映像資料の中には心身にきわめて不快な影響をおよぼすシーンが多出するものも含まれています。鑑賞するかどうか、また上映中の退出は本人の判断に任せます。 http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~shakti/ 田中雅一のホームページ オフィスアワーは特に設けない。問い合わせやアポイントは shakti@zinbun.kyoto-u.ac.jp で受けつける。 オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									